

平成28年度 静岡県訪問看護ステーション実態調査

I 目的

本調査は、退職の原因を含む静岡県内の訪問看護ステーションの実態を把握し、今後の訪問看護ステーション活動の発展向上に役立てることを目的としています。

II 調査概要

(1) 調査対象 静岡県内の現存する訪問看護ステーション189ヶ所（東部75ヶ所、中部55ヶ所、西部59ヶ所）
【平成26年調査時：172ヶ所（東部66ヶ所、中部49ヶ所、西部57ヶ所）】

(2) 回答件数 188件（回収率99.5%）

(3) 調査内容
① 訪問看護ステーションの届出状況
② 訪問看護ステーションの実施状況
③ 看護職員の就業状況
④ 看護職員の退職状況

III 調査方法 郵送配布・回収（自記方式）

IV 調査期間 平成28年5月16日～7月15日
調査基準期間：平成28年6月1日～30日

V 調査結果

1. 訪問看護ステーションの概要

1) 設置主体

「株式会社・有限会社・合同会社」が86ヶ所（45.7%）と最も多く、前回調査時より11ヶ所増えている。その内、看護師或いはその家族が起業している事業所数は東部で15ヶ所、中部で12ヶ所、西部で2ヶ所の合計29ヶ所、「株式会社・有限会社・合同会社」全体の33.7%である。医療法人は48ヶ所（25.5%）と調査の度に増えている。

表1 設置主体別割合 (n=188)

設置主体	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			数	割合	数	割合	数	割合
株式会社・有限会社・合同会社	86	45.7%	75	43.6%	44	32.6%	33	26.8%
医療法人	48	25.5%	44	25.6%	40	29.6%	39	31.7%
社会福祉法人	18	9.6%	15	8.7%	13	9.6%	12	9.8%
農業協同組合連合会・農協共済	9	4.8%	9	5.2%	9	6.7%	9	7.3%
社団法人・財団法人	8	4.3%	8	4.7%	7	5.2%	7	5.7%
公立	5	2.7%	6	3.5%	7	5.2%	8	6.5%
看護協会	4	2.1%	4	2.3%	4	3.0%	4	3.3%
日赤	3	1.6%	3	1.7%	3	2.2%	3	2.4%
社会福祉協議会	3	1.6%	4	2.3%	4	3.0%	4	3.3%
郡市医師会	2	1.1%	2	1.2%	2	1.5%	2	1.6%
特定非営利活動法人	1	0.5%	1	0.6%	1	0.7%	1	0.8%
協同組合	1	0.5%	1	0.6%	1	0.7%	1	0.8%
計	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%

2) 同一法人の併設医療機関

同一法人の併設医療機関は「併設あり」が75ヶ所（39.8%）、「併設なし」は113ヶ所（60.1%）であった。「併設あり」のうち、病院・診療所共に併設しているのは16ヶ所（8.5%）、病院のみが39ヶ所（20.7%）、診療所のみが20ヶ所（10.6%）であった。

前回の調査結果と比較すると、併設する医療機関のない事業所が20ヶ所、診療所のみを併設している事業所は5ヶ所増えている。病院・診療所共に併設しているところは7ヶ所減っている。

表2 同一法人の併設医療機関の有無 (n=188)

	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)		
			数	割合	数	割合	数	割合	
併設有	病院	39	20.7%	41	23.8%	39	28.9%	44	35.8%
	診療所	20	10.6%	15	8.7%	15	11.1%	15	12.2%
	病院・診療所	16	8.5%	23	13.4%	21	15.6%	10	8.1%
併設医療機関 無	113	60.1%	93	54.1%	60	44.4%	54	43.9%	

3) 同一法人の併設事業

同一法人で「併設事業あり」は、152ヶ所（80.9%）で、前回調査より12ヶ所増え、「併設事業なし」は前回調査より4ヶ所増の36ヶ所（19.1%）であった。併設事業の内訳で最も多いのは、居宅介護支援事業で123ヶ所（80.9%）、次いで通所介護80ヶ所（52.6%）、訪問介護77ヶ所（50.7%）、通所リハ54ヶ所（35.5%）であった。

表3 同一法人併設事業の有無 (n=188)

	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			数	割合	数	割合	数	割合
併設事業あり	152	80.9%	140	81.4%	116	85.9%	105	85.4%
併設事業なし	36	19.1%	32	18.6%	19	14.1%	18	14.6%
計	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%

表3-2 併設事業の内訳 複数回答 (n=152)

事業の種類	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			数	割合	数	割合	数	割合
居宅介護支援	123	80.9%	111	79.3%	92	79.3%	97	92.4%
訪問介護	77	50.7%	68	48.6%	60	51.7%	49	46.7%
通所介護	80	52.6%	66	47.1%	57	49.1%	49	46.7%
通所リハビリ	54	35.5%	48	34.3%	46	39.7%	43	41.0%
老人保健施設	36	23.7%	36	25.7%	37	31.9%	28	26.7%
グループホーム	32	21.1%	29	20.7%	23	19.8%	18	17.1%
短期入所療養介護	28	18.4%	28	20.0%	26	22.4%	24	22.9%
その他	27	17.8%	24	17.1%	13	11.2%	15	14.3%
訪問リハビリ (医療機関)	23	15.1%	20	14.3%	19	16.4%	13	12.4%
福祉用具貸与	22	14.5%	20	14.3%	15	12.9%	9	8.6%
短期入所生活介護	28	18.4%	20	14.3%	17	14.7%	14	13.3%
小規模多機能	23	15.1%	19	13.6%	16	13.8%	11	10.5%
特別養護老人ホーム	23	15.1%	17	12.1%	19	16.4%	15	14.3%
定期巡回・随時対応	19	12.5%	14	10.0%				
訪問入浴介護	9	5.9%	13	9.3%	19	16.4%	8	7.6%
療養通所介護	5	3.3%	6	4.3%	12	10.3%	6	5.7%
ケアハウス	8	5.3%	6	4.3%	8	6.9%	9	8.6%
看護小規模多機能 (複合型)	12	7.9%	2	1.4%	0	0.0%		
サービス付き高齢者専用住宅	14	9.2%						

4) サテライトの設置について

サテライトは既に13事業所 (6.9%) で設置され、設置数は15ヶ所であった。
サテライト設置の意向はあるが、困難と回答した事業所は33ヶ所 (17.6%) であった。
その理由として、33ヶ所全てが人材確保が困難と回答している。

表4 サテライトの設置状況 (n=188)

	数	割合
既に設置	13	6.9%
設置の意向なし	142	75.5%
設置の意向はあるが困難	33	17.6%
計	188	100%

表4-2 サテライト設置困難 (n=33) 複数回答

設置が困難・無理な理由	数	割合
人材確保が困難	28	84.9%
初期投資費用	4	2.1%
黒字化困難、利益が見込めない	4	2.1%
利用者のニーズが不明	3	1.6%

5) 山間地区への訪問について

山間地区等遠隔地への訪問は、29ヶ所 (15.4%) が実施しているが、159ヶ所 (84.6%) は実施をしていない。その理由は、「訪問の依頼がない」が159ヶ所のうち153ヶ所 (96.2%) であった。
「訪問の依頼はあるが対応できない」理由についての記載はなかった。「訪問の依頼はあるが対応できない」と回答した6ヶ所のうち1ヶ所は、交通費の助成があれば対応できるとしている。

表5 遠隔地への訪問実施状況 (n=188)

	数	割合
山間地区等への訪問を実施している	29	15.4%
山間地区等への訪問を実施していない	159	84.6%
計	188	100%

表5-2 遠隔地への訪問をしない理由 (n=159)

	数	割合
訪問の依頼がない	153	96.2%
訪問の依頼はあるが対応できない	6	3.8%
計	159	100%

表5-3 交通費の助成があればどうか (n=6)

交通費の助成あれば可	1
交通費の助成あっても不可	5

遠隔地への訪問看護を実施している事業所を地区別でみると、東部地区は、熱海1ヶ所、伊東市は3ヶ所 西伊豆町・東伊豆・伊豆の国市・伊豆市で各1ヶ所、富士市で2ヶ所が実施している。
中部地区では、静岡市葵区で4ヶ所、藤枝市で2ヶ所、島田市で3ヶ所が実施している。
西部地区では、掛川市・磐田市・森町で各1ヶ所が実施。浜松市内では、北区で3ヶ所、浜北区で1ヶ所、天竜区で2ヶ所が実施している。

表5-4 地区別の遠隔地への訪問看護実施状況 (n=29)

【東部】		【中部】		【西部】	
住所	数	住所	数	住所	数
伊東市玖須美	2	静岡市葵区城内町	1	掛川市大池	1
伊東市岡	1	静岡市葵区福田ヶ谷	1	磐田市家田	1
伊東市八幡野	1	静岡市葵区山崎	1	周智郡森町	1
熱海市水口町	1	静岡市葵区北番町	1	浜松市北区引佐町	1
賀茂郡西伊豆町	1	藤枝市岡部	1	浜松市北区三方原町	1
賀茂郡南伊豆町	1	藤枝市瀬戸新屋	1	浜松市北区細江町	1
伊豆市柏久保	1	島田市野田	1	浜松市浜北区中瀬	1
伊豆の国市四日町	1	島田市旗指	1	浜松市天竜区渡ヶ島	1
富士市天間	1	島田市本通	1	浜松市天竜区二俣町	1
富士市大淵	1	計	9	計	9
計	11				

6) 機能強化型について

機能強化型の要件を満たし届出をしている事業所は、8ヶ所（4.3%）である。機能強化型を目指しているが、要件を満たしていない事業所が94ヶ所（50%）で、要件を満たしていない、または届出の意向もない事業所が86ヶ所（45.7%）であった。

表6 機能強化型の届出状況 (n=188)

	数	割合
要件を満たし届出をしている	8	4.3%
要件を満たしているが届出していない	0	0%
意向はあるが、要件を満たしていない	94	50.0%
要件を満たしていない、または意向ない	86	45.7%
計	188	100%

7) 加算の届出状況

加算の届出状況は、これまでの調査同様特別管理加算が最も多く、176ヶ所（93.6%）である。定期巡回・随時対応サービス連携は25ヶ所（13.3%）で、前回調査より10ヶ所増えている。精神科訪問看護療養費は81ヶ所（43.1%）が届出をしている。機能強化型訪問看護管理療養費1は3ヶ所、機能強化型訪問看護管理療養費2は5ヶ所が届出をしている。

表7 加算の届出状況 (n=188)

届出の有無 加算の種類	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)		
			数	割合	数	割合	数	割合	
特別管理加算	176	93.6%	161	93.6%	126	93.3%	115	93.5%	
緊急時訪問看護加算	174	92.6%	156	90.7%	121	89.6%	105	85.4%	
ターミナルケア加算	172	91.5%	153	89.0%	120	88.9%	105	85.4%	
24時間対応体制加算	165	87.8%	148	86.0%	113	83.7%	98	79.7%	
サービス提供体制強化加算	98	52.1%	91	52.9%	88	65.2%	81	65.9%	
精神科訪問看護療養費	81	43.1%	68	38.4%					
看護体制強化加算	40	21.3%							
定期巡回・随時対応サービス連携	25	13.3%	15	8.7%					
精神科複数回訪問加算	24	12.8%	25	14.5%					
精神科重症患者早期集中支援管理連携加算	10	5.3%	7	4.1%					
24時間連絡体制加算	9	4.8%	10	5.8%	27	20.0%	22	17.9%	
居宅療養管理指導	7	3.7%	14	8.1%	12	8.9%	13	10.6%	
機能強化型訪問看護管理療養費2	5	2.7%	6	3.5%					
機能強化型訪問看護管理療養費1	3	1.6%	3	1.7%					
専門研修を受けた 看護師	緩和ケア 褥瘡ケア	1 0	0.5% 0%	0 0	0% 0%				

表7-2 加算の6月実績数 (n=188)

届出の有無 加算の種類	届出数	算定実績数
特別管理加算	176	2,774
緊急時訪問看護加算	174	6,539
ターミナルケア加算	172	103
24時間対応体制加算	165	2,158
サービス提供体制強化加算	98	25,581
精神科訪問看護療養費	81	890
看護体制強化加算	40	1,799
定期巡回・随時対応サービス連携	25	161
精神科複数回訪問加算	24	5
精神科重症患者早期集中支援管理連携加算	10	2
24時間連絡体制加算	9	102
居宅療養管理指導	7	0
機能強化型訪問看護管理療養費2	5	169
機能強化型訪問看護管理療養費1	3	152
専門研修を受けた 看護師	緩和ケア 褥瘡ケア	1 0

8) 職員体制 (平成28年6月の状況)

職員区分別では、「看護職員」が1,194人 (70.4%)、「リハビリ職員」が349人 (20.6%)「事務職員」が130人 (7.7%)であった。前回調査の常勤換算からの変化をみると、従事者総数は194.9人の増加である。

看護師が最も多く133.4人の増加、次いで作業療法士が25.8人の増加であった。1事業所あたりの職種別従事者数でみると、「看護職員」の常勤換算は4.84人と、これまでの調査の中では最も多い。「リハビリ職員」は1.28人と、前回調査より若干減少している。

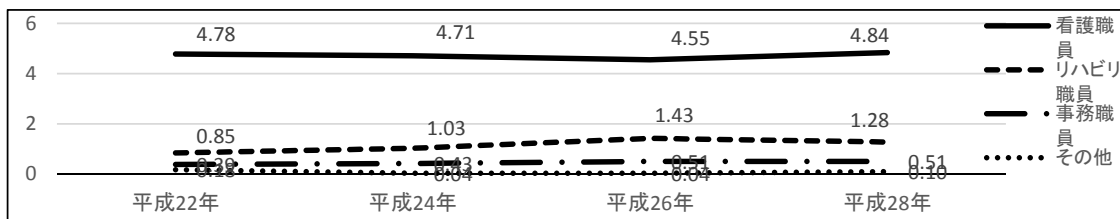
表8 職種別職員数 平成28年6月現在 (単位:人)

	従事者数				常勤換算従事者数		常勤換算従事者数					
	総数	常勤		非常勤	人数	構成割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
		専従	兼務				人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
総数	1,695	791	225	679	1267.1	100%	1072.2	100%	838.6	100%	763.7	100%
保健師	12	8	0	4	9.7	0.8%	11.2	1.0%	11.3	1.4%	7.7	1.0%
助産師	4	0	1	3	2.4	0.2%	4.1	0.4%	2.1	0.2%	2.2	0.3%
看護師	1,103	511	118	474	843.9	66.6%	710.5	66.3%	589.3	70.3%	544	71.2%
准看護師	75	33	7	35	53.7	4.2%	57	5.3%	32.9	3.9%	34	4.5%
理学療法士	229	113	54	62	158.3	12.5%	136.2	12.7%	102.6	12.2%	77.7	10.2%
作業療法士	111	56	18	37	79.8	6.3%	54	5.0%	35.1	4.2%	26	3.4%
言語療法士	9	2	3	4	4.5	0.4%	4.3	0.4%	1.8	0.2%	1.8	0.2%
事務職員	130	53	22	55	95.5	7.5%	87.9	8.2%	58.6	7.0%	48.3	6.3%
その他	22	15	2	5	19.3	1.5%	7	0.7%	4.9	0.6%	22	2.9%

表8-2 1事業所あたりの職種別従事者数 (n=188, 単位:人)

	従事者数			常勤換算従事者数	常勤換算従事者数		
	総数	常勤	非常勤		第3回 (H26.9)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
				人数	人数	人数	
総数	9.02	5.41	3.61	6.74	6.53	6.21	6.20
保健師	0.06	0.04	0.02	0.05	0.07	0.08	0.06
助産師	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02
看護師	5.87	3.35	2.52	4.49	4.13	4.33	4.42
准看護師	0.40	0.21	0.19	0.29	0.33	0.28	0.28
理学療法士	1.22	0.89	0.33	0.84	0.79	0.76	0.63
作業療法士	0.59	0.39	0.20	0.42	0.31	0.26	0.21
言語療法士	0.05	0.03	0.02	0.02	0.33	0.01	0.01
事務職員	0.69	0.40	0.29	0.51	0.51	0.43	0.39
その他	0.12	0.09	0.03	0.10	0.04	0.04	0.18

図1 1事業所あたりの職種別従事者割合の前回調査との比較 (n=188, 単位:人)



看護職員の常勤換算数は「3.0~3.9人」が49ヶ所 (26.1%)と最も多く、次いで「~2.9人」で41ヶ所 (21.8%)であった。5人未満のステーションは118ヶ所 (62.8%)あり、小規模ステーションが全体の6割以上である。

表9 看護職員常勤換算数とステーション数 (n=188)

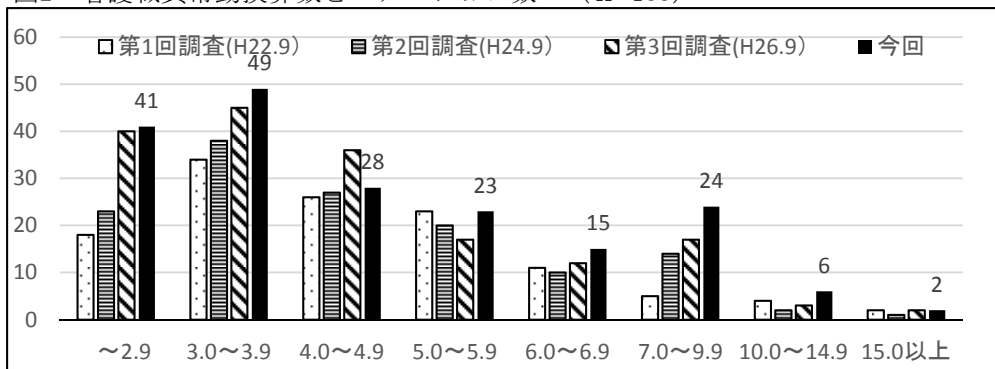
常勤換算数	今回調査	第3回 (H26.9)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
~2.9	41	40	23	18
3.0~3.9	49	45	38	34
4.0~4.9	28	36	27	26
5.0~5.9	23	17	20	23
6.0~6.9	15	12	10	11
7.0~9.9	24	17	14	5
10.0~14.9	6	3	2	4
15.0以上	2	2	1	2
計	188	172	135	123

平成27年6月以降に開設した、開設1年以内の事業所20ヶ所の看護職員の常勤換算数「2.9人以下」が9ヶ所(45%)、「3.0～3.9人」10ヶ所(50%)と19ヶ所(95%)が4人未満である。

表10 開設1年以内の事業所の看護職員の常勤換算数 (n=20) (平成27年6月以降新設事業所)

常勤換算数	新設事業所数
～2.9	9
3.0～3.9	10
4.0～4.9	1
計	20

図2 看護職員常勤換算数とステーション数 (n=188)

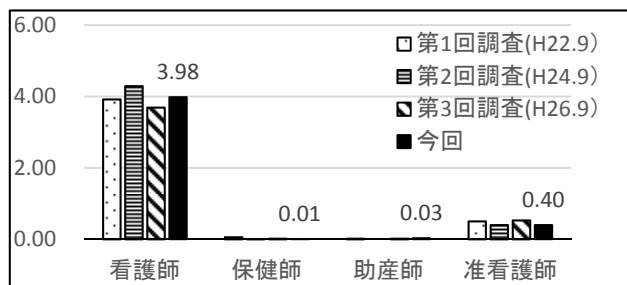


看護職の常勤換算数を地区別で見ると、すべての地区で増加している。中でも西部地区は、これまでの調査で最も多い。

表11 看護職の地区別常勤換算数

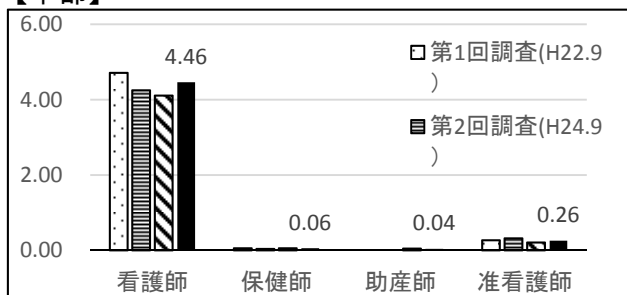
	東 部			
	今回	第3回 (H26.9)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
看護師	3.98	3.69	4.29	3.92
保健師	0.01	0.02	0.01	0.06
助産師	0.03	0.02	0	0.02
准看護師	0.40	0.53	0.40	0.50
計	4.42	4.26	4.70	4.50

【東 部】



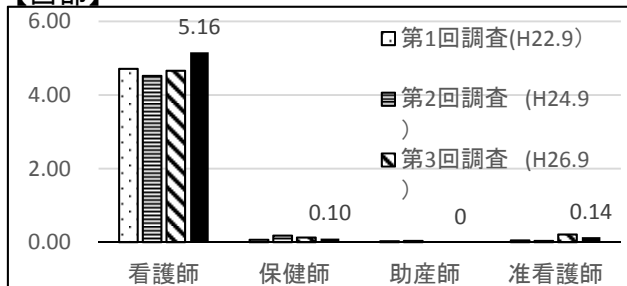
	中 部			
	今回	第3回 (H26.9)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
看護師	4.46	4.11	4.25	4.71
保健師	0.06	0.06	0.04	0.06
助産師	0.04	0.05	0	0
准看護師	0.26	0.21	0.32	0.27
計	4.82	4.43	4.61	5.04

【中 部】



	西 部			
	今回	第3回 (H26.9)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
看護師	5.16	4.66	4.52	4.71
保健師	0.10	0.13	0.18	0.07
助産師	0	0	0.04	0.03
准看護師	0.14	0.21	0.04	0.05
計	5.39	5.00	4.78	4.86

【西 部】



9) 常勤換算数と利用者数

188事業所全体の常勤換算数の平均は6.74人で、うち看護職員の常勤換算数の平均は4.84人である。「利用者数100人以上」の事業所では、看護職員の常勤換算数の平均は8.05人であるのに対し、「利用者数100人未満」の事業所の看護職員の常勤換算数は4.03人である。利用者100人以上の事業所の中には、看護職員の常勤換算が2.5～3.0人と少ないところもあるが、理学療法士や作業療法士等が常勤換算で3.0人以上は在職している。

表12 利用者数別 (n=188)

利用者数	事業所数	構成割合
100人以上	38	20.2%
100人未満	150	80.8%
合計	188	100.0%

表13 全ステーションの常勤換算数の平均 (n=188)

職種	常勤換算数
保健師	0.05
助産師	0.01
看護師	4.49
准看護師	0.29
理学療法士	0.84
作業療法士	0.42
言語療法士	0.02
事務職員	0.51
その他	0.10
計	6.74

表14 利用者100人以上の事業所の常勤換算数の平均 (n=38)

職種	常勤換算数
保健師	0.07
助産師	0
看護師	7.84
准看護師	0.14
理学療法士	2.18
作業療法士	1.21
言語療法士	0.10
事務職員	1.02
その他	0.05
計	12.61

表15 利用者100人以下の事業所の常勤換算数の平均 (n=150)

職種	常勤換算数
保健師	0.05
助産師	0.02
看護師	3.64
准看護師	0.32
理学療法士	0.50
作業療法士	0.22
言語療法士	0
事務職員	0.38
その他	0.12
計	5.25

10) 専門看護師・認定看護師の在籍状況について

専門看護師はいないが、認定看護師は10名在籍していた。「訪問看護認定看護師」が最も多く6人であった。その他は「認定看護管理者」が3名、「がん性疼痛看護認定看護師」が1名であった。

表16 専門看護師・認定看護師数

資格	人数
訪問看護認定看護師	6
認定看護管理者	3
がん性疼痛看護認定看護師	1
計	10

11) 研修の受講状況について

研修には159ヶ所(84.6%)が受講している。「受講したことがない」は、18ヶ所(9.6%)である。「受講したことがない」理由は、16ヶ所が「業務多忙」、4ヶ所が「参加しやすい地域ではない」である。

表17 研修の受講状況 (n=188)

	人数	割合
受講したことがある	159	84.6%
今後受講予定	11	5.9%
受講したことがない	18	9.6%
計	188	100%

表18 受講した理由 (n=159) (複数回答)

	人数	割合
受講したい内容だった	142	89.3%
参加しやすい地域での開催	99	62.3%
情報交換できる	73	45.9%
その他	3	1.9%

表18-2 受講したことがない理由 (n=18) (複数回答)

	人数	割合
業務多忙で参加できない	16	88.9%
参加しやすい地域ではなかった	4	22.2%
研修の必要性を感じない	0	0%
受講したい内容がない	0	0%
研修を知らなかった	0	0%

図3 受講した理由 (n=159)

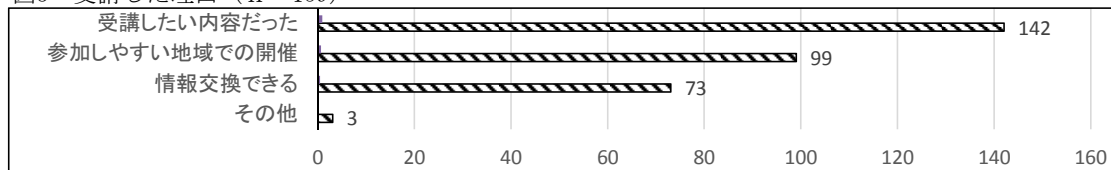
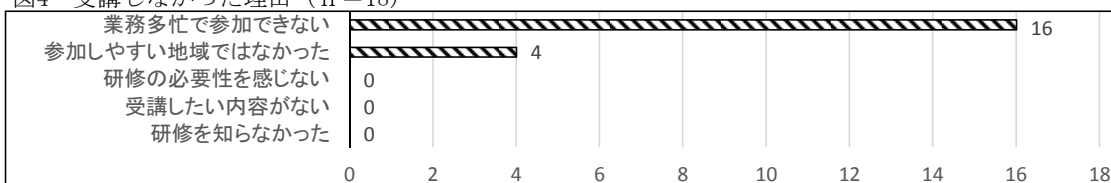


図4 受講しなかった理由 (n=18)



1 2) 看護学生の実習受け入れ状況について

看護学生の実習については、83ヶ所（44.2%）が受け入れをしている。
現在は実習を受けていないが、受ける意向があるのは64ヶ所（34.0%）である。
実習を受けていないし、受ける意向もない、41ヶ所（21.8%）であった。

表19 実習の受け入れ状況（n=188）

	事業所数	割合
受け入れている	83	44.2%
受けていないが受け入れの意向あり	64	34.0%
受けていない、受ける意向もない	41	21.8%
計	188	100%

1 3) 収支状況について

平成27年4月～平成28年3月までの収支状況については、対象期間以降新設された事業所を除く赤字が58ヶ所（31.7%）、黒字は92ヶ所（50.3%）、不明が33ヶ所（18.0%）であった。
今後の事業所運営は、事業拡大が53ヶ所（28.2%）、現状維持は131ヶ所（69.7%）、縮小は4ヶ所（2.1%）であった。赤字であっても14ヶ所は事業拡大を目指している。
平成27年6月～平成28年3月までに開設した事業所15ヶ所の内の13ヶ所（86.7%）は赤字である。
今後の方向性として事業縮小とした4ヶ所はいずれも赤字事業所であり、8月に1ヶ所が廃止、1ヶ所が休止している。

表20 収支状況（n=183）

	事業所数	割合
赤字	58	31.7%
黒字	92	50.3%
不明	33	18.0%
計	183	100%

表21 今後の事業運営（n=188）

	事業所数	割合
拡大	53	28.2%
現状維持	131	69.7%
縮小	4	2.1%
計	188	100%

表22 赤字事業所の設置後の経過年数（n=58）

設立経過年数	事業所数	割合
1年未満	13	22.41%
1～2年未満	11	18.97%
2～3年未満	8	13.79%
3～4年未満	4	6.90%
4～5年未満	0	0%
5～10年未満	5	8.62%
10年以上	17	29.31%
計	58	100%

表23 赤字事業所の利用者数（n=58）

利用者数	事業所数	割合
10人以下	8	13.8%
10～20人未満	8	13.8%
20～30人未満	9	15.5%
30～40人未満	5	8.6%
40～50人未満	4	6.9%
50～100人未満	22	37.9%
100人以上	2	3.5%
計	58	100%

表24 赤字事業所の看護職員の常勤換算数（n=58）

常勤換算数	事業所数	割合
～2.9	21	36.2%
3.0～3.9	17	29.3%
4.0～4.9	9	15.5%
5.0～5.9	6	10.3%
6.0～6.9	1	1.7%
7.0～9.9	2	3.5%
10.0～14.9	2	3.5%
15.0以上	0	0%
計	58	100%

図5 収支状況（n=183）

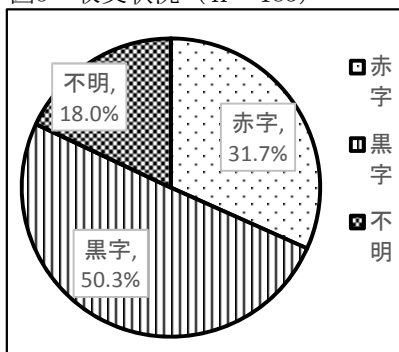


図6 今後の事業運営（n=188）

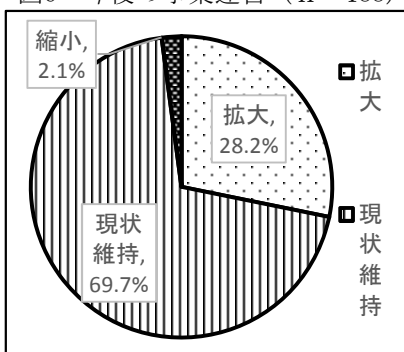


図7 赤字事業所の設置後の経過年数

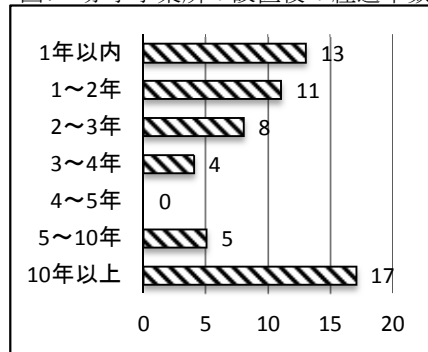


図8 赤字事業所の利用者数（n=58）

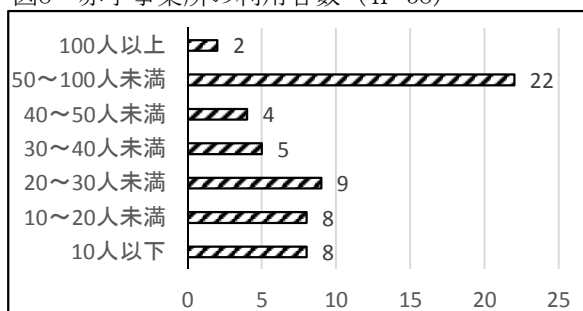
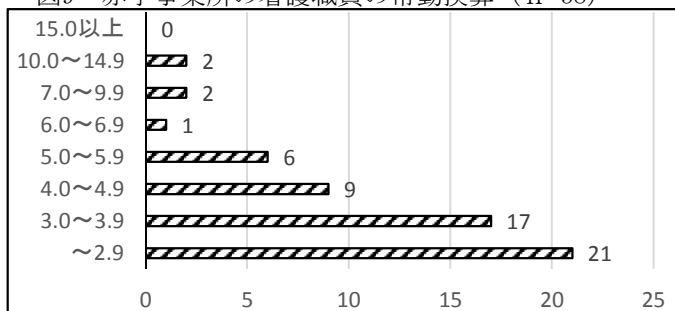


図9 赤字事業所の看護職員の常勤換算



2. 利用者の状況（平成28年6月1日～6月30日の1ヶ月）

1) 利用者の年齢・性別

平成28年6月の1ヶ月間の訪問看護利用者総数は、13,616人であった。前回調査より1,746人増加している。男女比率は、男性6,077人（44.6%）、女性7,539人（55.4%）前回調査とほぼ同じ割合である。年齢別では75～99歳が最も多く、訪問看護利用者全体の68%を占める。

2) 保険別の利用者数・訪問回数

保険別の利用者数は、介護保険が10,404人（76.4%）、健康保険が3,107人（22.8%）であった。保険別の利用者の割合は、前回調査とほぼ同じであった。介護保険・医療保険共に訪問回数は増加しているが、割合は前回調査時とほぼ同じであった。

表25 利用者の年齢別・性別数

	男性		女性		利用者総数		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1～15歳	131	2.1%	92	1.2%	223	1.6%	188	1.6%	150	1.5%	102	1.1%
16～39歳	149	2.4%	133	1.7%	282	2.1%	238	2.0%	172	1.7%	157	1.8%
40～64歳	816	13.4%	676	9.0%	1,492	10.9%	1,315	11.1%	1,050	10.6%	978	11.0%
65～74歳	1,195	19.7%	1,020	13.5%	2,215	16.3%	2,031	17.1%	1,684	16.9%	1,599	18.0%
75～99歳	3,755	61.8%	5,489	72.9%	9,244	67.9%	6,000	50.5%	5,148	51.8%	4,558	51.2%
100歳以上	31	0.5%	129	1.7%	160	1.2%	2,098	17.7%	1,745	17.5%	1,500	16.9%
計	6,077	44.6%	7,539	55.4%	13,616	100%	11,870	100%	9,949	100%	8,894	100%

表26 保険別利用者数

	利用者数		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護保険	10,404	76.4%	9,107	76.7%	7,987	80.3%	7,206	81.0%
医療保険	3,107	22.8%	2,670	22.5%	1,879	18.9%	1,656	18.6%
その他	105	0.8%	93	0.8%	83	0.8%	32	0.4%
計	13,616	100%	11,870	100%	9,949	100%	8,894	100%

表27 保険別訪問回数

	訪問回数		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
介護保険	63,714	73.4%	51,801	72.7%	44,054	76.5%	38,548	76.1%
医療保険	22,454	25.9%	18,849	26.5%	13,282	23.0%	11,975	23.6%
その他	591	0.7%	547	0.8%	290	0.5%	134	0.3%
計	86,759	100%	71,197	100%	57,626	100%	50,657	100%

3) 介護保険利用者の内訳

介護保険利用者の介護度別でみると、今回の調査では要介護1が2,067人（19.9%）と最も多く、次いで要介護2の2,064人（19.8%）であった。これまでの調査で最も多かった要介護5の利用者は、平成24年度をピークに減少している。要介護4は1,673人（16.1%）、要介護3は1,511人（14.5%）と利用者は微増である。要支援1・2の利用者は、順調に増加している。

表28 介護保険の介護度別利用者状況（人数）

	利用者数		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
要支援1・2	1,388	13.3%	1,039	11.4%	681	8.5%	552	7.8%
要介護1	2,067	19.9%	1,635	18.0%	1,213	15.2%	911	12.8%
要介護2	2,064	19.8%	1,691	18.6%	1,436	18.0%	1,176	16.5%
要介護3	1,511	14.5%	1,352	14.8%	1,260	15.8%	1,154	16.2%
要介護4	1,673	16.1%	1,595	17.5%	1,478	18.5%	1,456	20.4%
要介護5	1,701	16.4%	1,795	19.7%	1,919	24.0%	1,875	26.3%
計	10,404	100%	9,107	100%	7,987	100%	7,124	100%

図10 介護度別利用者数（過去調査との比較）

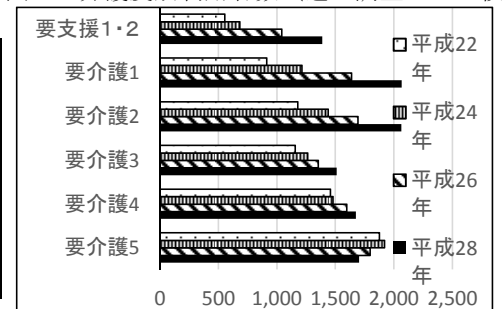
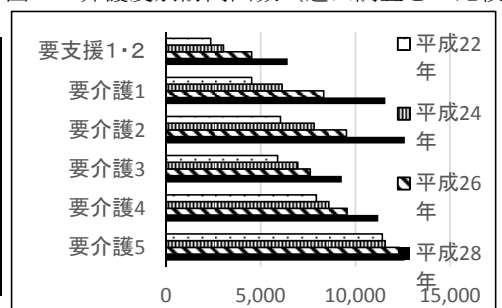


表29 介護保険の介護度別利用者状況（訪問回数）

	訪問回数		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
要支援1・2	6,421	10.08%	4,506	8.7%	3,024	6.9%	2,340	6.2%
要介護1	11,577	18.2%	8,316	16.1%	6,123	13.9%	4,505	11.8%
要介護2	12,620	19.8%	9,521	18.4%	7,816	17.7%	6,037	15.8%
要介護3	9,284	14.6%	7,608	14.7%	6,949	15.8%	5,879	15.4%
要介護4	11,214	17.6%	9,545	18.4%	8,582	19.5%	7,931	20.8%
要介護5	12,598	19.8%	12,286	23.7%	11,560	26.2%	11,409	30.0%
計	63,714	100%	51,782	100%	44,054	100%	38,101	100%

図11 介護度別訪問回数（過去調査との比較）



4) 訪問看護指示書の発行元の内訳

平成28年6月に訪問した利用者の訪問看護指示書の発行元は、病院が5,953人（43.7%）、診療所が7,163人（52.6%）、在宅専門医が500人（3.7%）であった。

表30 訪問看護指示書発行元

	人数	割合
病院	5,953	43.7%
診療所	7,163	52.6%
在宅専門医	500	3.7%
計	13,616	100%

5) 平成28年6月、1か月間の新規利用者について

新規利用者数は、891人であった。新規利用者が0の事業所は21ヶ所（11.1%）であった。2ヶ所の事業所では、30件以上の新規利用者があった。

依頼の紹介先で最も多いのが居宅介護支援事業所の500人（56.1%）であった。次いで病院からの紹介が190人（21.3%）で、診療所からの紹介は82人（9.3%）であった。利用者・家族からや他のステーションからの紹介や依頼もあった。

表31 新規利用者数（n=188）

利用者数	事業所数	割合
0	21	11.1%
1~2	46	24.5%
3~4	38	20.2%
5~6	29	15.4%
7~8	26	13.8%
9~10	17	9.0%
11~12	6	3.2%
15~19	3	1.6%
30~32	2	1.1%
計	188	100%

表32 新規依頼の紹介先（n=891）

	人数	割合
居宅介護支援事業所	500	56.1%
地域包括支援センター	53	5.9%
病院	190	21.3%
診療所	82	9.3%
老健・特養	2	0.2%
利用者・利用者家族	18	2.0%
他のステーション	21	2.4%
その他	25	2.8%
計	891	100%

6) 平成28年6月で終了した利用者数

調査月である平成28年6月に終了した利用者は、640人であった。

7) 在宅での看取り件数

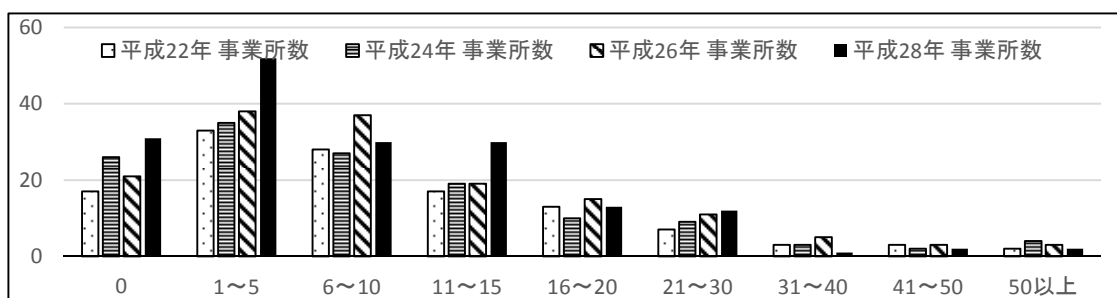
平成27年度中の在宅での看取り件数は、1,901件であった。

平成28年4月以降に新設された5ヶ所の事業所を除く183ヶ所の事業所の内、看取りを行った事業所は、152ヶ所（83.1%）である。1~5件までの看取りを行った事業所は52ヶ所と増加しているが、看取り数0の事業所も31ヶ所に増えている。

表33 看取りの件数（n=183）

看取り数	事業所数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
0	31	16.9%	21	13.8%	26	19.3%	17	13.8%
1~5	52	28.4%	38	25.0%	35	25.9%	33	26.9%
6~10	30	16.4%	37	24.3%	27	20.0%	28	22.8%
11~15	30	16.4%	19	12.5%	19	14.1%	17	13.8%
16~20	13	7.1%	15	9.9%	10	7.4%	13	10.6%
21~30	12	6.6%	11	7.2%	9	6.6%	7	5.7%
31~40	11	6.0%	5	3.3%	3	2.2%	3	2.4%
41~50	2	1.1%	3	2.0%	2	1.5%	3	2.4%
50以上	2	1.1%	3	2.0%	4	3.0%	2	1.6%
計	183	100%	152	100%	135	100%	123	100%

図12 看取り件数（過去調査との比較）



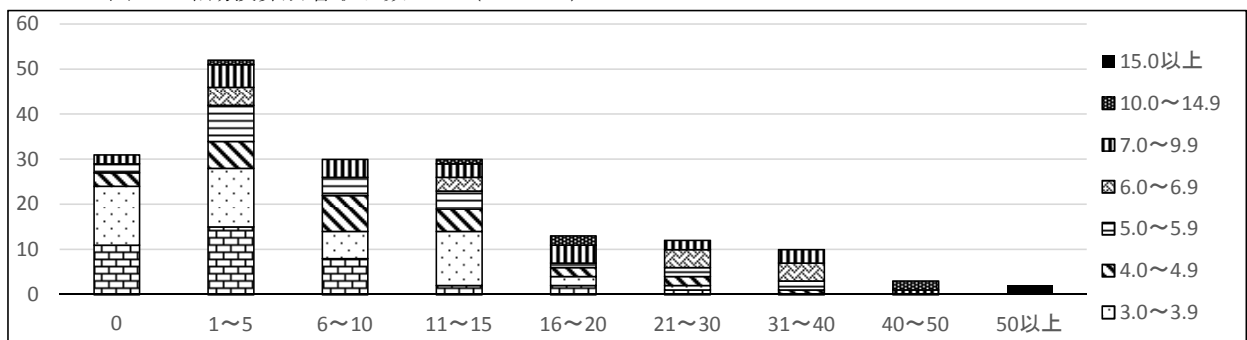
i) 事業所規模別の看取りの状況

50件以上の看取りを行っている事業所の常勤換算数は、15人以上が2ヶ所であった。
 常勤換算4.0～4.9人で30件以上の看取りを行っている事業所が1ヶ所、3.0～3.9人で20件以上の看取りを行っている事業所が1ヶ所ある。
 常勤換算7.0～9.9人の事業所で看取り数ゼロが2ヶ所ある。1ヶ所は精神に特化した事業所で、1ヶ所は昨年度まで24時間対応体制をとっていなかった事業所である。

表34 常勤換算別看取り数 (n=183)

常勤換算数	看取り件数 (平成27年度中)									合計
	0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～30	31～40	40～50	50以上	
～2.9	11	15	8	2	2	1	0	0	0	39
3.0～3.9	13	13	6	12	2	1	0	0	0	47
4.0～4.9	3	6	8	5	2	2	1	0	0	27
5.0～5.9	2	8	4	4	1	2	2	0	0	23
6.0～6.9	0	4	0	3	0	4	4	0	0	15
7.0～9.9	2	5	4	3	4	2	3	1	0	24
10.0～14.9	0	1	0	1	2	0	0	2	0	6
15.0以上	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	31	52	30	30	13	12	10	3	2	183

図13 常勤換算別看取り数 (n=183)



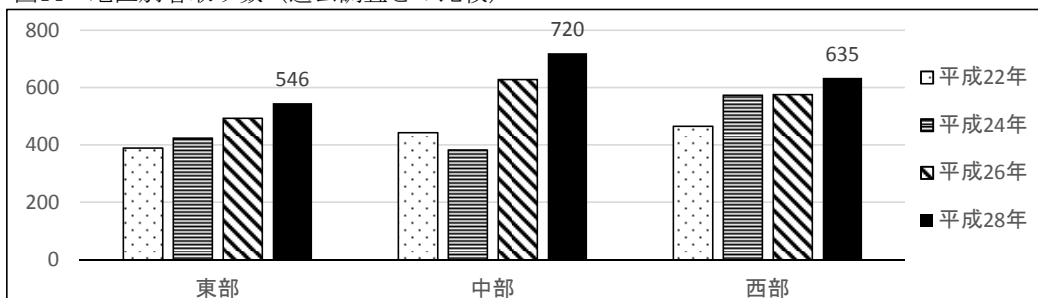
ii) 地区別の看取り状況

看取り数を地区別で見ると、東部は546件で前回調査より52件の増、西部は635件で前回より59件の増である。中部は前回より91件増の720件で、地区別では最も多かった。

表35 地区別看取り数

地区	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			数	割合	数	割合	数	割合
東部	546	28.7%	494	29.1%	425	30.8%	390	30.0%
中部	720	37.9%	629	37.0%	383	27.7%	443	34.1%
西部	635	33.4%	576	33.9%	574	41.5%	466	35.9%
計	1,901	100%	1,699	100%	1,382	100%	1,299	100%

図14 地区別看取り数 (過去調査との比較)



iii) 在宅看取りの場所

平成27年度中の在宅看取りを場所別で見ると、自宅が最も多く1,815件 (95.48%) であった。グループホームで40人 (2.1%)、サービス付き高齢者専用住宅で24人 (1.26%)、有料老人ホームで22人 (1.16%) を看取っている。

表36 在宅看取りの場所別

場所	看取り数	割合
自宅	1,815	95.48%
グループホーム	40	2.10%
サービス付き高齢者専用住宅	24	1.26%
有料老人ホーム	22	1.16%
計	1,901	100%

8) 医療処置の実施状況

全事業所が実施している医療処置は、これまでの調査同様、服薬だけである。
 吸入・吸引、インスリン、点滴・静脈・持続皮下注射は185ヶ所（98.4%）が実施している。
 在宅腹膜灌流は131ヶ所（69.7%）と少ないが、前回調査より17ヶ所増えている。
 PTやOTによるリハビリも110ヶ所（58.5%）と15ヶ所増えている。

表37 医療処置の実施状況 (n=188)

項目	対応可能		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
インスリン	185	98.4%	167	97.1%	125	92.6%		
点滴・静脈・持続皮下注射	185	98.4%	169	98.3%	130	96.3%	115	95.3%
中心静脈栄養	178	94.7%	161	93.6%	120	88.9%	104	84.6%
在宅自己腹膜灌流	131	69.7%	114	66.3%	89	65.9%	66	53.7%
ストーマケア	182	96.8%	167	97.1%	129	95.6%	117	95.1%
在宅酸素療法	182	96.8%	167	97.1%	132	97.8%	119	96.8%
人工呼吸器	165	87.8%	147	85.5%	115	85.2%	91	74.0%
気管カニューレ	178	94.7%	159	92.4%	122	90.4%	110	89.4%
吸入・吸引	185	98.4%	168	97.7%	130	96.3%	120	97.6%
服薬	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%
経管栄養	184	97.9%	168	97.7%	131	97.0%	121	98.4%
褥瘡処置	184	97.9%	169	98.3%	134	99.3%	122	99.2%
留置カテーテル (膀胱内・瘻、胃瘻)	181	96.3%	166	96.5%	130	96.3%	120	97.6%
ペインコントロール	170	90.4%	157	91.3%	122	90.4%	108	87.8%
在宅リハビリ (看護師)	182	96.8%	166	96.5%	131	97.0%	118	95.9%
(PT, OTによる)	110	58.5%	95	55.2%	76	56.3%	68	55.3%

3 対象者別対応状況

対象者別対応状況をみると、悪性新生物と難病に対してはほとんどの事業所が対応している。
 小児については130ヶ所（69.2%）で、前回調査より5ヶ所増に留まっている。
 精神の訪問は106ヶ所（56.4%）で、前回より4ヶ所しか増えていない。

それぞれの年齢別利用者数では、小児は前回同様1～6歳が最も多い。次いで6～15歳が多い。
 難病は1～15歳の利用者が増えた他は、全体的に利用者が減っている。
 悪性新生物は75～99歳が最も多い。全体的に利用者は減少している。
 精神は40～64歳が最も多く、前回調査時より若干増えている他は、全体的に減少している。

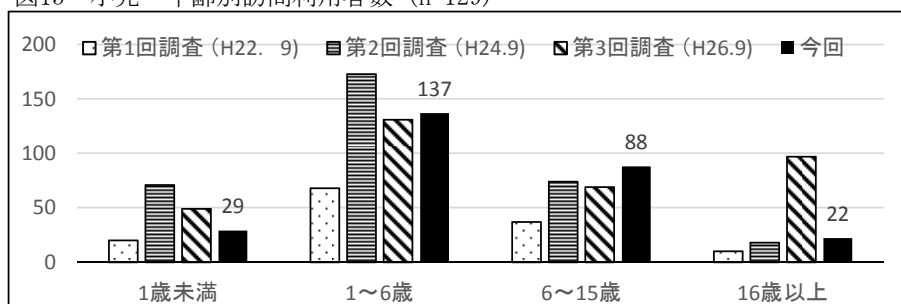
表38 対象別対応状況 (n=188)

	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	ST数	割合	ST数	割合	ST数	割合	ST数	割合
小児	130	69.2%	125	72.7%	88	65.2%	73	59.4%
難病	180	95.7%	163	94.8%	130	96.3%	115	93.5%
悪性新生物	181	96.3%	165	95.9%	129	95.6%	119	96.8%
精神	106	56.4%	102	59.3%	86	63.7%	73	59.4%

表39 小児 年齢別訪問利用者数

年齢	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1歳未満	29	10.5%	49	14.1%	71	21.1%	20	14.8%
1～6歳	137	49.6%	131	37.9%	173	51.5%	68	50.4%
6～15歳	88	31.9%	69	20.0%	74	22.0%	37	27.4%
16歳以上	22	8.0%	97	28.0%	18	5.4%	10	7.4%
計	276	100%	346	100%	336	100%	135	100%

図15 小児 年齢別訪問利用者数 (n=129)



今回の調査では、後期高齢者の年齢を75歳～99歳と100歳以上に変更した。

表40 難病 年齢別利用者数 (n=180)

年齢	今回		年齢	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1～15歳	105	6.43%	1～15歳	44	1.1%	133	2.5%	13	1.1%
16～39歳	62	3.79%	16～39歳	125	3.0%	45	0.9%	45	3.7%
40～64歳	249	15.24%	40～64歳	569	13.7%	900	17.0%	104	8.6%
65～74歳	428	26.19%	65～74歳	1,703	40.9%	1,658	31.4%	274	22.6%
75～99歳	773	47.31%	75～89歳	1,652	39.6%	2,525	47.8%	748	61.8%
100歳以上	17	1.04%	90歳以上	73	1.7%	24	0.4%	26	2.2%
計	1,634	100.0%	計	4,166	100%	5,285	100%	1,210	100%

図16 難病 年齢別利用者数

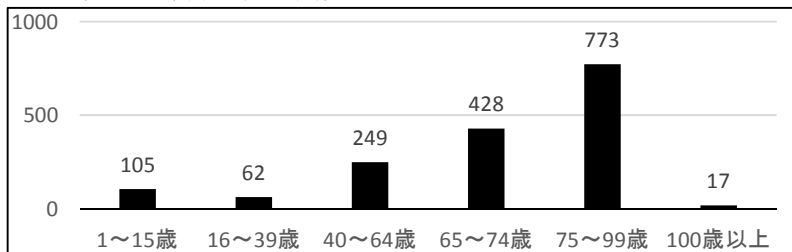


表41 悪性新生物 年齢別利用者数 (n=181)

年齢	今回		年齢	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合		人数	割合	件数	割合	件数	割合
1～15歳	3	0.1%	1～15歳	5	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
16～39歳	13	0.5%	16～39歳	10	0.3%	282	8.1%	4	0.2%
40～64歳	288	11.3%	40～64歳	478	15.9%	439	12.7%	161	9.7%
65～74歳	595	23.3%	65～74歳	629	21.0%	932	26.9%	404	24.4%
75～99歳	1,645	64.3%	75～89歳	1,639	54.6%	1,472	42.5%	888	53.5%
100歳以上	13	0.5%	90歳以上	241	8.0%	339	9.8%	203	12.2%
計	2,557	100%	計	3,002	100%	3,464	100%	1,660	100%

図17 悪性新生物 年齢別利用者数

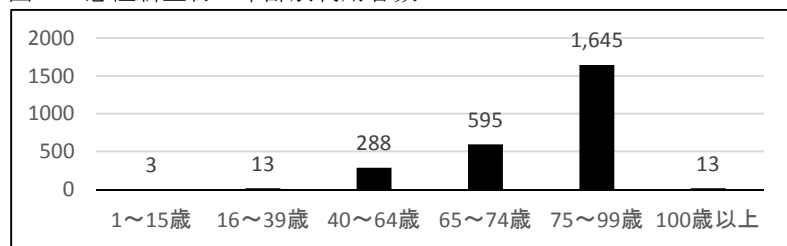
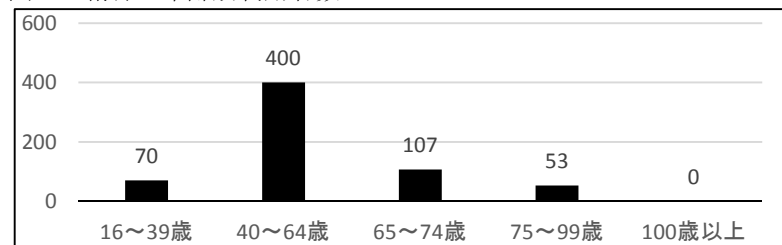


表42 精神 年齢別利用者数 (n=105)

年齢	今回		年齢	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合		人数	割合	件数	割合	件数	割合
16～39歳	70	11.1%	16～39歳	78	11.7%	102	11.2%	38	12.2%
40～64歳	400	63.5%	40～64歳	307	46.1%	495	54.2%	148	47.6%
65～74歳	107	17.0%	65～74歳	140	21.0%	210	23.0%	49	15.8%
75～99歳	53	8.4%	75～89歳	104	15.6%	97	10.6%	60	19.3%
100歳以上	0	0.0%	90歳以上	37	5.6%	9	1.0%	16	5.1%
計	630	100%	計	666	100%	913	100%	311	100%

図18 精神 年齢別利用者数



4. 平成27年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業状況

1) 新規就業者数（平成27年度中）

平成27年度中の新規就業者数は、常勤156人（58.65%）、非常勤110人（41.35%）で、常勤での就業者が増加している。
 就業者の看護職としての経験年数は、常勤・非常勤共に10年以上が最も多く、常勤・非常勤合わせて209人（78.6%）である。
 就業前の職場は、常勤・非常勤共に病院・診療所が最も多く、合わせて136人（51.1%）である。
 無職だった人は、常勤では無かったが、非常勤で14人（12.7%）いた。
 就業につながった募集方法は、「紹介」「その他」が多く、常勤・非常勤合わせて204人（76.7%）である。

表43 看護職員の新規就業者数（n=188）

	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤	156	58.65%	144	47.7%	89	50.9%	56	34.8%
非常勤	110	41.35%	158	52.3%	86	49.1%	105	65.2%
計	266	100%	302	100%	175	100%	161	100%

表44 看護職員としての経験年数

経験年数	今回			
	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
1年未満	2	1.3%	0	0%
1～3年	6	3.9%	3	2.7%
4～9年	26	16.7%	20	18.2%
10年以上	122	78.2%	87	79.1%
計	156	100%	110	100%

表45 訪問看護の経験

経験の有無	今回			
	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
経験あり	60	38.5%	41	37.3%
経験なし	96	61.5%	69	62.7%
計	156	100%	110	100%

表46 就職前の職場

職場種類	今回			
	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
病院・診療所	87	55.8%	49	44.6%
介護施設	41	26.3%	26	23.6%
その他	28	18.0%	21	19.1%
無職	0	0%	14	12.7%
計	156	100%	110	100%

表47 新採用者の募集方法

採用方法	今回				第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	常勤		非常勤		人数	割合	人数	割合	人数	割合
	人数	割合	人数	割合						
ナースセンター	10	6.4%	5	4.6%	11	3.7%	14	8.0%	8	4.9%
職安	14	9.0%	10	9.1%	29	9.6%	27	15.4%	27	16.8%
求人誌	11	7.1%	12	10.9%	36	11.9%	22	12.6%	16	10.0%
紹介	78	50.0%	53	48.2%	110	36.4%	61	34.9%	61	37.9%
その他	43	27.6%	30	27.3%	116	38.4%	51	29.1%	49	30.4%
計	156	100%	110	100%	302	100%	175	100%	161	100%

2) 求人状況（平成28年6月現在）

求人状況は、常勤の募集が101ヶ所、非常勤の募集が82ヶ所であった。
 求人方法は、ハローワークが最も多く、次いでナースセンターであった。

表48 求人方法（複数回答、n=183）

求人方法	今回	
	数	割合
ハローワーク	87	47.5%
ナースセンター	73	39.9%
求人誌	43	23.5%
その他	42	23.0%
計	245	

3) 退職者について

退職者は168人で、内訳は常勤85人（50.6%）、非常勤83人（49.4%）で、共に前回調査より増加しているが、常勤での退職者0の事業所は130ヶ所（69.15%）、非常勤での退職者0の事業所は129ヶ所（68.62%）と7割近い事業所では退職者はいない。

常勤の退職者数は1人が最も多く、40ヶ所（21、28%）であった。退職者が最も多かった事業所では6人が退職している。その退職理由は、出産・育児が2人、転居が1人、休日がとれないが3人であった。

非常勤の退職者数も1人が最も多く44ヶ所（23.40%）であった。非常勤の退職者で最も多かった事業所では7人が退職をしている。その退職理由は、本人の健康が1人、人間関係が1人、契約期限による退職が5人であった。

退職者が2人以上の事業所の設置からの経過年数をみると、常勤では、設置から1～2年と3～5年はそれぞれ5ヶ所（27.8%）で、合せて全体の半分以上であった。

非常勤退職の場合は、1～2年が4ヶ所（26.7%）、3～4年が3ヶ所（20.0%）であった。

勤続年数でみると、常勤・非常勤共に1年未満が最も多く、4割前後が1年以内に退職をしている。次いで多いのは、常勤では勤続5年以上で、非常勤では1～2年である。

前回同様、就業して2年以内での退職が、常勤では52人（61.2%）、非常勤では50人（60.2%）と、退職者の半数以上を占めている。

退職の理由は、これまでの調査結果同様、本人と家族の健康問題が最も多い。次いで多いのは、常勤では「携帯当番の負担」が10人、非常勤では出産・育児が8人であった。

【常勤退職者について】

表49 常勤の退職者状況（n=188）

退職者数	事業所数	
	数	割合
0	130	69.15%
1	40	21.28%
2	13	6.91%
3	3	1.60%
4	1	0.53%
6	1	0.53%
合計	188	100%

表50 常勤退職者2人以上の事業所の設置経過年数（n=18）

開設経過年数	退職者数別事業所数				合計	割合
	2人	3人	4人	6人		
1～2年	4	0	0	1	5	27.8%
3～4年	3	1	1	0	5	27.8%
5～10年	2	0	0	0	2	11.1%
11年以上	4	2	0	0	6	33.3%
計	13	3	1	1	18	100%

表51 退職者の勤務年数（n=85）

	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	35	41.2%	25	35.2%	9	19.2%	16	34.8%
1～2年	17	20.0%	13	18.3%	13	27.7%	8	17.4%
2～3年	7	8.2%	6	8.5%	5	10.6%	5	10.9%
3～5年	6	7.1%	6	8.5%	1	2.1%	7	15.2%
5年以上	20	23.5%	21	29.5%	19	40.4%	10	21.7%
計	85	100%	71	100%	47	100%	46	100%

表52 主な退職理由（n=85 複数回答あり）

	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
出産・育児	6	7.1%	5	7.0%	3	6.4%	5	10.9%
結婚	2	2.4%	1	1.4%	1	2.1%	2	4.4%
本人の健康問題	14	16.5%	13	18.3%	8	17.0%	10	21.7%
家族の健康問題	4	4.7%	4	5.6%	8	17.0%	4	8.7%
転居	4	4.7%	4	5.6%	4	8.5%	6	12.8%
進学	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
人間関係	4	4.7%	7	9.9%	6	12.8%	1	2.2%
訪問看護が合わない	8	9.4%	9	12.7%	3	6.4%	1	2.2%
勤務時間長い・超勤多い	5	5.9%	1	1.4%	0	0%	1	2.2%
休暇がとれない	5	5.9%	4	5.6%	1	2.1%	0	0%
携帯当番の負担	10	11.8%	5	7.0%	7	14.9%	4	8.7%
給与に不満	6	7.1%	5	7.0%	7	14.9%	1	2.2%
責任・医療事故への不安	4	4.7%	3	4.2%	2	4.3%	0	0%
その他	26	30.6%	16	22.5%	10	21.3%	14	30.4%
計	99							

【非常勤退職者について】

表53 非常勤の退職状況（n=188）

退職者数	事業所数	
	数	割合
0	129	68.62%
1	44	23.40%
2	10	5.32%
3	4	2.13%
7	1	0.53%
合計	188	100%

表54 非常勤退職者2人以上の事業所の設置経過年数（n=15）

開設経過年数	退職者数別事業所数			合計	割合
	2人	3人	7人		
1～2年	2	2	0	4	26.7%
3～4年	3	0	0	3	20.0%
5～10年	1	0	1	2	13.3%
11年以上	4	2	0	6	40.0%
計	10	4	1	15	100%

表55 退職者の勤務年数 (n=83)

	今回		第3回調査 (H26. 9)		第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	32	38.6%	31	43.6%	17	34.0%	15	28.3%
1～2年	18	21.7%	8	11.3%	10	20.0%	12	22.6%
2～3年	12	14.5%	13	18.3%	7	14.0%	4	7.5%
3～5年	9	10.8%	11	15.5%	7	14.0%	11	20.8%
5年以上	12	14.5%	8	11.3%	9	18.0%	11	20.8%
計	83	100%	71	100%	50	100%	53	100%

表56 主な退職理由 (n=83 複数回答あり)

	今回		第3回調査 (H26. 9)		第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
出産・育児	8	9.6%	5	7.0%	7	14.0%	6	11.3%
結婚	0	0%	1	1.4%	0	0.0%	3	5.7%
本人の健康問題	14	16.9%	6	8.5%	9	18.0%	14	26.4%
家族の健康問題	5	6.0%	12	16.9%	8	16.0%	5	9.4%
転居	5	6.0%	9	12.7%	3	6.0%	6	11.3%
進学	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
人間関係	6	7.2%	2	2.8%	3	6.0%	3	5.7%
訪問看護が合わない	4	4.8%	3	4.2%	5	10.0%		
勤務時間長い・超勤多い	0	0%	2	2.8%	0	0%	0	0%
休暇がとれない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
携帯当番の負担	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
給与に不満	3	3.6%	1	1.4%	4	8.0%	1	1.9%
責任・医療事故への不安	4	4.8%	8	11.3%	3	6.0%	2	3.8%
その他	39	47.0%	27	38.0%	17	34.0%	13	24.5%
計	90							

退職理由の記述から

常勤	非常勤
免職	事業所の体制強化で常勤が条件となったため
業務、看護観の相違	時間拘束によるストレス
利用者とのゆっくり向き合うことが苦手	管理者との関係(2)
訪問先からのクレーム(2)	職員関係のトラブル
患者とのコミュニケーションがとり辛い	アセスメントが的確にできない
通勤時間がかかる	単独での訪問に不安が強い
趣味を生かしたい	服従規程違反を注意したため
定年退職(4)	シングルマザーになり給与面で困難
ST立ち上げ(4)	扶養の範囲内で働きたい
家族の都合	家から近いところで働きたい
子供の就学のため	運転が苦手
転職	独立開業のため、転職(4)
	子育てのため、家業手伝い
	他のステーションへ

退職後の動向

退職後の動向は、わかっている範囲では、常勤は病院・診療所が最も多く、非常勤は介護施設が最も多かった。常勤・非常勤共に他のステーションへの就職もあった。

表57 退職後の動向

退職後の動向	今回			
	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
病院・診療所	18	21.2%	14	16.9%
介護施設	11	12.9%	16	19.3%
他のステーション	17	20.0%	12	14.5%
その他	8	9.4%	21	25.3%
不明	31	36.5%	20	24.1%
計	85	100%	83	100%